

【第1号議案】

2014年度 事業報告書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

特定非営利活動法人 はだしのゲンをひろめる会

1 事業実施のまとめ

2014年度は国内では『はだしのゲン』を自由に読める環境づくりに尽力し、国外では『Barefoot Gen』を普及する事業を行う。『Barefoot Gen』の紙芝居が完成次第、CDの作成を検討する。また、核兵器廃絶を求める個人、団体、自治体等と協力し、原爆被害の実相と核兵器の非人道性を伝える事業を展開するため、賛同者の募集事業、広報活動を進めていく。

2014年度は平和首長会議（事務局：広島平和文化センター）及びJICA中国への支援要請、ひろめる会リーフレットの発行、『Barefoot Gen』紙芝居の作成と同紙芝居CDの普及、日本大学国際関係学部大学祭シンポジウムにてゲンの翻訳者4人が報告するなど多彩な活動により、正会員数、賛助会員数とも着実に増加した。

2014年度の主な事業は以下の通りである。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実 施 場 所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
『はだしのゲン』を小中学校に普及する事業	・日本大学国際関係学部安元隆子ゼミナールを介してアメリカ、ロシアの教育機関に寄贈 ・核戦争を防止する石川医師の会の『はだしのゲン』寄贈運動への協力	11月21日	県内	4人	小中学生、教職員など不特定多数	50
		12月5日				
『Barefoot Gen』を国内外に普及する事業	・広島平和文化センターやJICA中国など通じて『Barefoot Gen』を国内外に寄贈 ・『Barefoot Gen』の紙芝居及び同紙芝居CDを作成、普及した	6月、8月	広島	5人	中学生、教職員、国内外の原爆被害の実相、	200
		8月	金沢	4人	核兵器廃絶の運動などに関心のあ	33

					る不特定多数	
原爆被害の実相と核兵器の非人道性を伝える事業	<ul style="list-style-type: none"> ・核戦争を防止する石川医師の会の「第5回核兵器廃絶国際行動デー」への協力 ・「2014年反核・平和おろづる市民のつどい」開催への協力 ・石川県原爆被災者友の会の「原爆と人間展」開催への協力（紙芝居の展示） 	6月15日 7月27日 8月5日～18日	金沢 金沢 金沢	10人 10人 10人	原爆被害の実相、核兵器廃絶の運動などに関心のある不特定多数	15
核兵器廃絶を求める個人、団体、自治体等と協力する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平和首長会議（事務局：広島平和文化センター）への支援要請 ・日本大学国際関係学部大学祭シンポジウムにてゲンの翻訳者4人が報告 	6月 11月1日	広島 静岡県三島市	5人 5人	原爆被害の実相、核兵器廃絶の運動などに関心のある不特定多数	30
会の活動状況や原爆資料に関する情報提供等の広報事業	<ul style="list-style-type: none"> ・会の活動を広報するためリーフレットを発行 ・ホームページを有効活用した ・朝日新聞、毎日新聞、中国新聞、北陸中日新聞、民医連新聞などの取材対応 	7月4日 通年 通年	国内	5人	原爆被害の実相、核兵器廃絶の運動などに関心のある不特定多数	100 12
その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・本会リーフレットを活用し、賛助会員、賛助団体会員の増加に務めた ・北陸労働金庫のNPO法人助成事業に応募し、2015年度助成金を受け取る 	5月、6月 9月	金沢 金沢	7人		3

(注) 『はだしのゲン』『Barefoot Gen』『ロシア語版改訂版』の寄贈実績は14頁を参照